



# 二月のご案内

〒567-0012  
茨木市東太田二丁目九一二一  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL 072-533-3750 FAX 072-533-3750

白い息をはずませて、マラソンランナーが走り抜けていき  
ました。  
皆様には如何お過ごしでしょうか。  
平成三十一年二月のご案内を申し上げます。

第二百七十五回

## 人生講座

日時 二月 十日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

濱畑 慧 僚 師



■濱畑 (はまはた) 先生、四十六歳。高槻市、常見寺衆徒。  
龍谷大学哲学科卒業後、平成九年より常見寺の境内地にある  
行信教校で浄土真宗のみ教えを学ばれる。前校長利井明弘師  
の薫陶を受け、信望も厚くお側にお仕えになっておられまし  
た。以来、真摯に教学の研鑽を積まれておられます。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

### ●寺報の遅配について (おわびとお願い)

西福寺では、月々のご案内(寺報)を佐川急便(株)の飛脚ゆうメール便を利用してお送りしています。  
ところが、最近、集荷してから皆さまのお手元に届くまで、非常に時間がかかるようになってい  
ます。前号は12月18日に発送いたしました。

佐川急便(株)が差出人となって郵便局に差し出し、郵便局員がゆうメールとして届けるサービスで、  
安価に送ることができるのが特徴です。遅配は、郵便事業の低迷や物流コストの上昇など、いくつか  
の要因が考えられます。代替のサービスも検討しておりますが、背に腹は代えられず、これまで通り  
利用せざるをえません。発送と同時に、西福寺のホームページも更新しています。下記のURLを直  
接入力するか、QRコードを読み取ることでご覧いただけるようになっていきます。もちろん、直接お  
電話をいただいても構いません。また、寺報の発送時期もこれまでより前倒しで行うよう努力いたし  
ます。何卒、皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

西福寺住職

## 仏教美術の いまものがたり

2019 1/9(水)-2/11(月・祝) 2/16(土)-3/24(日)

開館時間：10時〜17時  
休館日：月曜日  
(1/14、2/11は開館) 1/17

入館料：一般500円

龍谷大学  
龍谷ミュージアム  
京・下京区堀川通正面下る西本願寺前



今回の特集展示では、「仏教説話に登場する鳥獣」や「ほとけや神が従える鳥獣」、そして「仏教建築に表される鳥獣」を取り上げます。普段は仏や菩薩の美しい造形に目を奪われませんが、今回は少し視点をかえて、ほとけや神々にぴったりと寄り添ういきものたちを鑑賞してみませんか？仏教世界を彩る「いきものがたり」をのぞいてみましょう。

2月28日、ふふがふはつうパスツアー。

西福寺ホームページはこちら▶  
<http://runbini.com/saifukuji/>



### 浄土和讃に聞く ⑪

◆仏光測量なきゆゑに

難思光仏となづけたり

諸仏は往生嘆じつつ

弥陀の功德を称せしむ

『浄土和讃』(註釈版558頁)

ものの重さをはかるとき、天秤を使います。一方の皿にはかりたいものを乗せ、もう一方にあらかじめ重さの分かっている分銅を乗せていき、ちょうど釣りあったところでものの重さが分かります。「ジャーカ物語」では、お釈迦さまがこの世にお出ましになる前、シビ王として生まれてきた時があったという。ある時、シビ王のところに鷹に追われた鳩が来て、命ごいをした。鷹は王さまに「私は腹が減っている。鳩を食べないと死んでしまう。あなたは鳩のいのちとわたしのいのちとどちらが大事だと思っているのか。」と尋ねた。そこで王さまは鷹のいのちも大切にしたい、自分の体の肉を鷹にやろうと、鳩と同じ重さ分だけ自分の肉を切り取って天秤の上に置いた。しかし、その天秤はどれだけ王さまの肉を切り取って置いてみても、鳩の重さと釣り合わない。そこで王さまは自分の体を天秤にのせ、自らのいのちを与え、鳩のいのちを救ったといいます。

鳩一羽のいのちを救うために自分のいのちを差し出したシビ王。そのおこないは尊くも、一度きりのものです。鷹だつて一時の空腹をしのぐがことができたに過ぎません。おのれの限界を知りつつ、このような善行を数限りなく行った末に、ついにお釈迦さまとしてこの世にお出ましになったとされています。それは、ただただ十方世界あまねく衆生を救いたまう阿弥陀仏の願いを広く知らしめるためでした。

▼阿弥陀仏の光ははかり知ることができないから、難思光仏と申しあげる。あらゆる仏がたは、すべてのものを往生させる阿弥陀仏の功德とそのはたらきをほめたたえておられる。

# 三月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
 浄土真宗 本願寺派 西福寺  
 TEL07263375 FAX07263375

地球から3億キロ離れた竜宮に、太陽系誕生や生命誕生の秘密に迫るべく1羽の鳥が舞い降りようとしています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十一年三月のご案内を申し上げます。

第二百七十六回

## 人生講座

日時 三月 十日(日) 昼二時〜四時  
 講師 行信教校講師

星野 親行 師



■星野(ほしの)先生、五十八歳。豊中市、西法寺住職。行信仏教学院から行信教校を経て、行信仏教文化研究所研究員に。平成二十六年四月より現職。著書に『あたりまえの不思議』(探究社)ほか。

■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

## 初参式

昨年1年間(平成30年1月1日〜12月31日)にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

と き: 4月13日(土) 午後1時より

ところ: 西福寺本堂ほか

受式冥加金: 5000円

申込み締切: 3月末日。

お問い合わせ: 西福寺 (TEL 072-622-3725)

## 彼岸会寄席

桂文福一座 桑山



西福寺仏教婦人会3月の

例会は、彼岸会(ひがんえ)寄席です。今年も文福一座の皆さんにお越しいただきます。

吃音(きつおん)という障害を「お前の個性や」と先代文枝師匠に励まされた恩を忘れず、若手落語家や大相撲の力士たちに温かい眼差しをもって関わり続けておられます。

その様子が「Eテレ」で全国放送され、大きな反響を呼びました。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、お楽しみ下さい。

日時: 3月18日(月) 午後2時〜3時半

場所: 西福寺本堂

費用: 千円(運営協力金として)

毎月28日、昼2時OPEN!ふっふかふ。

## 北御堂納骨壇増設のご案内

大阪の発祥から現在に至るまで、本願寺・北御堂と大阪は、切り離せない関係の上で発展してきました。そして、各時代を生きた大阪の人たちを支えてきた心の基盤は、お念仏に生かされる御同朋御同行の平座の精神でした。

津村別院のご本尊(阿弥陀如来)のそのまなざしには、この大阪が、戦乱の世の大坂本願寺「寺内町」から近代都市「商都大阪」へと変貌していく姿が映っていたと同時に、各時代に生きた私たちの先祖さま一人ひとりを、あたたく見護ってきたことでしょう。

この大阪の地に、浄土真宗のみ教えを護り伝えてくださった方々があつてこそ、今のご法縁があります。大切な方の納骨をご縁として、大阪に連綿と続くお念仏の灯が、皆さまに受け継がれていくことを、切に念願しています。



▼ こういう方にぜひ

- ① お墓をお探しの方
- ② 故郷を離れ、京阪神にお住まいの方

※申込時に津村別院所定の用紙に所属されているお寺(浄土真宗に限る)の署名捺印が必要です。

※遺骨は1基内に収容できれば、その数は問いません。※維持管理冥加金の納付方法は年間払いと一括払いがあり、いずれかをご選択いただけます。

▼ お問い合わせ: 浄土真宗本願寺派・本願寺津村別院

大阪市中央区本町4-1-3

開門時間: 午前7時〜午後4時

電話: 06-6261-6796

# 四月のご案内

〒567-0012  
茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL072-533-3375 FAX072-533-3375

やわらかな春の日差しに、大地のみならず、あらゆる対立が雪解けを迎えるよう願わずにはおれません。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十一年四月のご案内を申し上げます。

第二百七十七回

## 人生講座

日時 四月十四日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

栗原光順 師



■栗原(くわはら)先生、四十七歳。堺市、生蓮寺住職。お寺の次男坊として生まれ、縁あってご当寺に入寺されました。その選択に少しの迷いはなかったと話されます。幼いころからお同行の皆さまにお育ていただいた喜びを本願他力のはたらきと味わわれています。

■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

## ●花まつりパレード、ご協力よろしく願います。

やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのご誕生を祝う「花まつり」に先立って、「花まつりパレード」を行います。新しい命の誕生を喜び、健やかな成長を願う心は親ばかりではありません。この地域に住むすべての人々の共通の思いです。

パレードは、西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さんが先導し、子供たちが白ゾウを引きます。るんびに太鼓が笛・鉦・太鼓による楽を奏で、初参式受式者とその親族、住職と続きます。

コースは、西福寺から東太田児童遊園(通称ふね公園)を時計回りに周回する道路で、昼1時頃より約15分間の行程です。なお、雨天の場合は中止いたします。パレード実施中、コース周辺の皆様には大変ご迷惑おかけいたします。何卒、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4月13日は、「花まつり」です。

『花御堂』を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのご誕生を祝います。あなたも、お友達をさそって、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



■昼2時から法要(15分程度)。夜7時まで、お参りできます。

■先着50名の方には粗供養を進呈。※昼1時から花まつりパレード実施。かわいい白ゾウの引き手を大募集!小学生対象。昼1時までに西福寺門前に集まってください(粗糞差し上げます)。

毎月28日、昼2時OPEN!ふっふ力F1。

## 浄土和讃に聞く

12

◆神光の離相をとかげれば  
無称光仏となづけたり

因光成仏のひかりをば  
諸仏の嘆ずるところなり

『浄土和讃』(註釈版559頁)

家族で外出先から帰ってきたとき、息子が急に顔をゆがめて耳を押さえました。「何か変な音が出ているー」数日前、野良猫が芝生でフンをするのにたまりかねて、猫よけの超音波を出す機械を取り付けたからでした。私と坊守には、何も聞こえません。静かなものです。取り付けたときも音らしい音が何も聞こえず、効果は半信半疑でした。息子に尋ねると駅やコンビニエンスストアでも聞こえることがあるそうです。通常、人間が聴くことのできる音の周波数は、20ヘルツという低い音から20キロヘルツという高い音までとされていますが、人間は年齢とともに高周波音を聞き取りづらくなるのです。私たち夫婦の耳は、すでに老化が始まっていたのでした。音ばかりではありません。実現不可能と思えることを成しえたとき、造作もないと高をくくっていたことがうまいかなかったとき、私の知りえないところで、様々な力がはたらいていたことに気づかされます。

「唯信鈔文意」に「法身はいろもなし、かたちもまします。しかればこころもおよばれず、ことばもたえたり」と親鸞聖人は、阿弥陀仏のことをお示しくださいます。目に見えないから存在しないのではない。私の方に力があるから備わっていないだけなのだ。微塵世界に満ち満ちて、ありとあらゆる草木国土を成仏させようとはたらいっているのです。

▼阿弥陀仏のすぐれた光は姿かたちを超えており、言葉で説き示すことができないから、無称光仏と申しあげる。光明無量の願を因とする光のはたらきは、あらゆる仏がたにほめたたえられる。

西福寺ホームページはこちら  
<http://runbini.com/saifukuji/>



# 五月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 本願寺派 西福寺  
TEL072-533355 FAX072-533375

年号が改まり、新しい時代が始まります。国内外で台頭しつつある国粹主義や覇権主義を克服して、お互いを慈しむ麗しく平和な時代となりますように。  
令和元年五月のご案内を申し上げます。

## 永代経法要厳修

日時 五月十一日(土) 昼二時・夜七時

十二日(日) 朝十時

講師 本願寺派輔教・行信教校講師

中西昌弘師

■永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(管純和師著「仏事の小箱」より)」いこうと願われる方々によって営まれる法要です。  
■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

### ●竜谷ミュージアム企画展・因幡堂平等寺

四條烏丸の南に伽藍を構える因幡堂平等寺。因幡堂は東寺・西寺以降、平安京(洛中)に初めて建った仏堂のひとつでした。

「日本三如来」と称され、天竺伝来と伝わる薬師如来を本尊とし、その由緒が因幡堂縁起絵巻に描かれること以外には、因幡堂の所蔵宝物についてこれまでほとんど知られていませんでした。今回の展示では、因幡堂伝来の

作品を中心に仏像20体が居並ぶなど、重要文化財5件を含む64件の宝物や史料が展観されます。京都在住の方も、京都通を自認する方も、知られざる古刹・因幡堂の全貌を是非ご覧ください。



龍谷大学 龍谷ミュージアム RYUKOKU MUSEUM

2019 4/20(土) - 6/9(日)

毎月28日、昼2時OPEN!ふっふかふ!



■5月10日(金)午後7時〜於西福寺本堂  
おかざり(供物をそなえつけます)  
毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願いします。

永代経に向けて(お願い)

### ご協力、有難うございました

### 花まつりパレード

4月13日(土) 昼1時より

やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのお誕生を祝い、初参式をお迎えになったお子さまの健やかな成長を願って、パレードを行いました。



西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さまが先導し、地域の子どもたちが白ゾウを引きました。るんびに太鼓が太鼓・笛・鉦による楽を奏で、西福寺周辺を歩きました。西福寺に帰着した後、花御堂の前で記念撮影。昔懐かしい紙芝居を楽しく拝見しました。2時からの法要では、讃佛偈を勤め、住職法話に続き、灌仏(誕生仏に甘茶を注ぎます)を行いました。門前では、「花まる市」を開催。仏教婦人会の皆さまによる「ちらしずし」の販売は、売り出しとほぼ同時に売り切れる盛況ぶりでした。

当日は、周辺住民の皆さまの多大なるご理解とご協力を賜りまして、滞りなく執り行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

西福寺住職



西福寺ホームページはこちら▶  
<http://runbini.com/saifukuji/>



# 六月のご案内

〒567-0012  
茨木市東太田二丁目九一三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL075-3335-5075 FAX075-3335-5075

にわか雨が降って、ケロケロとカエルが鳴き出しました。皆様には如何お過ごしでしょうか。令和元年六月のご案内を申し上げます。

第二百七十八回

## 人生講座

日時 六月 九日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

鳥羽 正和 師



■鳥羽(とば)先生、七十八歳。福井県若狭町、徳成寺前住職。数十年來ご自身がたしなまれてきた墨絵そのままに、温厚で誠実なお話で佛恩を明らかにして下さいます。  
■お誘いあわせの上、ござってお参り下さい。

### ●親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

2023(令和5)年に勤修される右記法要の期日について左記の通りお知らせいたします。

- 2023(令和5)年
- 第1期: 3月29日(水)〜4月3日(月)
- 第2期: 4月10日(月)〜4月15日(土)
- 第3期: 4月24日(月)〜4月29日(土)
- 第4期: 5月6日(土)〜5月11日(木)
- 第5期: 5月16日(火)〜5月21日(日)

○親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要準備事務所  
電話: 075-371-5181 (代)



### 西福寺仏教婦人会総会

西福寺仏教婦人会は、親鸞聖人のみ教えに導かれて、すべての人びとの幸せを願われる阿彌陀如来のお心をいただき、自他ともに心豊かに生きることをめざす社会をめざし、ともに歩みを進める女性のための会です。

京都・西本願寺での念仏奉仕団や当山報恩講など、女性ならではの細やかな心配りで、宗門と当山の護持発展にご尽力いただいております。また、彼岸会寄席やコンサート、研修旅行など楽しい行事もご用意しています。

左記の通り、総会を開催いたします。会員の皆さま、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

日時: 5月28日(水)午前11時〜  
場所: 西福寺本堂  
※総会終了後、引き続き懇親会。  
軽食をご用意いたします。

毎月28日、昼2時OPEN!ふっふかふ。



### 浄土和讃に聞く

13

◆光明月日に勝過して  
超日月光となづけたり  
釈迦嘆じてなほつきず  
無等等を帰命せより

『浄土和讃』(註釈版559頁)

太陽から発せられた光は、地球に届くの約8分20秒かかるといいます。太陽系に最も近い恒星、ケンタウルス座α星までだと、4年3ヶ月ほど。もし、アンドロメダ銀河の一つの星を観測していて、その星の住人が助けを求めたとしたら、それは今から250万年前に発せられたメッセージです。地球から、光の速さで移動できる宇宙船に乗り込み、その星を目指したとしても、そこは住人が助けを求めてから500万年後の世界のはず。その人はもちろん、その人を育んだ文明自体も、おそらく跡形もなく消えて無くなっていることでしょう。速さの象徴である光ですら、広大な宇宙の中では、まるで鈍行列車か亀の歩みのようです。

「無碍光如来は月日にはすぐれたまえる光なるがゆえに」と宗祖は仰せです。助けを必要とする人のもとに助けが届くまでに時間がかかっていたら、助けられないことがあります。星々も存在しない宇宙の最果てにいるかのような孤独も、光の届かぬ深い海の底に沈んでいるかのような絶望も、阿彌陀仏には障りとはならないのです。今、すでにここにはたらいっている救いは、私たちが求めるより先に届いていたのです。この私が抱えている心の闇など、すでにお見通しでありました。

▼阿彌陀仏の光はその輝きが太陽や月の光に超えすぐれているから、超日月光と申しあげる。釈尊がどれほどおほめになっても、たたえ尽くすことはできない。くらべようのないすぐれた仏である無等等に帰命するがよい。

西福寺ホームページはこちら▶  
<http://runbini.com/saifukuji/>

